

新型コロナウイルス(SARS-COV-2)(nCOV)感染症 (COVID-19)に対する対応について

1. nCOV に対するこれまで判明している一般的な考え

- a. nCOV はヒトに感染するウイルスです。その感染力は一人が2-3人に移すと言われていますが、閉鎖空間ではそのリスクが高まります。感染様式は飛沫感染、接触感染ですので人口密度が高く、声を発する場所ではなおさらです。よって、ライブバーや、屋形船での宴会、クルーズ船などでの集団感染例が多いのはそのためです。
- b. 上気道、下気道に感染するため、風邪症状を引き起こし、重症化すると肺炎となります。しかし不顕性感染も多く、その80%が無症候性です。注意すべきは不顕性感染者でも媒介にはなり、ウイルスの拡散を行うということです。つまり誰から移ってもおかしくないということです。とくに、小児、若年層では発症リスクが低いですが、ウイルスを持っていないとも言いきれません。
- c. nCOVに限ったことではありませんが、免疫力の低下した状態の方（免疫抑制薬服用者、高齢者、糖尿病、腎不全患者など）では、ウイルスを排除する抵抗力が落ちておりますので、重症化しやすいと言われております。事実死亡者の多くは高齢者です。
- d. 肺の慢性炎症疾患もリスク要因であること。ウイルスは一般的に細胞に侵入する際にレセプターという物質が必要で、個々のウイルスに決まったレセプターが存在します。nCOVはアンギオテンシン変換酵素レセプターIIがそのレセプターと言われておりますが、それは慢性炎症で発現が高まります。つまり肺の基礎疾患を有する場合や喫煙者はリスクが高いと言えます。
- e. 現在のところ、有効なワクチンや治療薬がないために、かかっても対症療法を行い、自己の免疫力で治癒していただくしかありません。

2. 現在皆さんができることー感染拡大を防ぎ、病気を早期に収束させるために

- a. 不要不急の外出は避ける。特に閉鎖空間での時間、場所の共有には注意が必要です
- b. とにかく手洗いをする。外出のあと、食事の前には石鹸で結構です。手を洗いましょう。一定時間であれば水洗いでもかなり手に付着したウイルスを洗い流せると言われています。アルコールがあれば消毒も根拠のあることです。
- c. nCOVの感染が少しでも疑われる方、つまり発熱や、風邪症状のある方は軽症であれば自宅で治していただく。
- d. 不安があれば保健所、かかりつけの病院に連絡をし、指示を仰ぐ。
- e. とくに、当院は移植後の患者さんも多く受診しており、症状のある方は、事態が収束するまでご協力をお願いします。
- f. なお厚労省から、電話受診で処方箋を送ることが可能となっており、ご相談にのります。

3. 移植患者さんの心構え

移植患者さんは免疫抑制薬を服用しております。そのために外来微生物に対しても抵抗力が一般健康人と比較して低下しています。よって、一般人よりもよりnCOVに対して慎重さが求められます。ただ、結果として現在取ることのできる対策法は一般人と比べ代わりはありません。即ち

- a. 不要不急の外出は避ける。特に閉鎖空間での時間、場所の共有には注意が必要です
- b. とにかく手洗いをする。外出のあと、食事の前には石鹸で結構です。手を洗いましょう。一定時間であれば水洗いでもかなり手に付着したウイルスを洗い流せると言われています。アルコールがあれば消毒も根拠のあることです。
- c. nCOVの感染が少しでも疑われる方、つまり発熱や、風邪症状のある方は軽症であれば自宅で治していただく。
- d. 不安があれば当院、あるいは保健所の相談コーナーに連絡をし、指示を仰ぐ。
- e. 十分な睡眠をとる。不十分な睡眠は免疫力を低下させます。
- f. なお、通院に公共交通機関を使用しなくてはならないために通院が躊躇される方は、この期間は、受診せずとも処方箋を送ることが可能となっております。ただ、過度の診療抑制は、もし定期的に必要な薬剤の注射、定期的に経過を見ることが必要な採血など受診をし

なくてはならないことも行われなくなると、不利益面の方が勝るようでは困りますので十分に考えて行動して下さい。

- g. なお、臓器移植患者さんの nCOV 感染症発症例がまだ報告がないため、何とも言えませんが、慎重な態度で感染の予防に心がけて下さい。

はらだ腎泌尿器クリニック